

令和4年度 福祉保健部長「政策宣言」達成状況

福祉保健部長 小見 光子

○ 令和4年度重要事業

事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の推進
目標	新型コロナワクチン接種の推進や感染防止対策の徹底など、引き続き関係機関と連携し、感染症のまん延防止に努めます。
年度末状況	ワクチン接種は、医療機関での個別接種体制を確保し、オミクロン株対応ワクチンの接種、また乳幼児（6か月～4歳）、小児（5～11歳）の接種を実施しました。 感染防止対策については、感染状況に応じて、基本的な感染対策の徹底とともに流行の備えなど情報発信に努めました。
自己評価	関係機関との連携を通じて、感染症のまん延防止を図ることができました。令和5年度も引き続き、接種を安全に迅速に実施できるよう関係機関と連携するなど、ワクチン接種の推進と感染予防対策の周知に努めてまいります。

事業名	子育て支援の推進
目標	安心して子どもを産み育てることができるよう、産後家事サポート事業や多胎ピアサポート事業を拡充するとともに、令和4年10月から子ども医療費の助成対象年齢を入院・通院とともにこれまでの15歳から18歳までに拡大するなど、子育て環境の更なる充実を図ります。
年度末状況	産後家事サポート事業については、令和4年度より対象者を生後6か月未満（多胎の場合は生後1年未満）までに拡充しました。 また、多胎ピアサポート事業を開催し、多胎児を持つ妊産婦の悩み解消を図るとともに、仲間づくりの場の提供を行いました。 子ども医療費の助成対象年齢については、令和4年10月診療分から入院・通院とともに18歳（高校生世代）までに拡充しました。
自己評価	産前産後の母親の心身の負担を軽減できるよう、母親をサポートする事業を引き続き実施してまいります。また、多胎児をもつ母親に寄り添いながら、多胎ピアサポート事業を継続してまいります。 子ども医療費助成については、令和5年以降も引き続き子どもの疾病の早期治療を促進するとともに、子育て世帯の経済的負担軽減に努めてまいります。

事業名	健康寿命の延伸に向けた健康づくりと介護予防の推進
目 標	<p>市民一人ひとりが自ら健康な生活習慣に取り組めるよう、8つの行動目標「Let'sトライ！IMIZUSHI 健康^{エイト}8」の普及を図るとともに、生活習慣病の発症や重症化の予防に向けた効果的かつ継続的な保健事業を推進します。</p> <p>また、高齢者が楽しみながら介護予防やフレイル予防ができるよう、運動習慣の獲得や健康増進につながる活動の普及に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>8つの行動目標「Let'sトライ！IMIZUSHI 健康^{エイト}8」について、分かりやすく伝えるため、ケーブルテレビでの健康8劇場の放映やリーフレットの配布など情報発信に努めました。</p> <p>生活習慣病の発症や重症化の予防事業について、対面での保健指導に加え、糖尿病予防のオンライン保健指導の導入や健康アプリを使用し、日々の健康データを「見える化」することで生活習慣の改善を支援しました。</p> <p>また、地域の通いの場では100歳体操の支援やフレイル予防の教室などを実施し、運動習慣の獲得や健康増進につながる活動の継続に向けた環境づくりを推進しました。</p>
自 己 評 価	<p>市民の健康な生活習慣の促進を図ることができました。今後も健康寿命の延伸に向けて、引き続き関係各課、関係機関と連携を図り、ICT（情報通信技術）も活用し、ライフステージに応じた地域ぐるみの健康づくりを推進してまいります。</p>